

医療情報の研究利用について

研究の課題名	内視鏡医療過疎地における消化器内視鏡専門医の役割 ～上部内視鏡検査での腫瘍検出率の検討～
研究の責任者(当院)	消化器内科 副院長 勝木 伸一
研究の対象者	クリニックで上部内視鏡検査を行った388名(男性168名・女性220名・平均年齢65.6歳)
研究の目的	上部内視鏡検査での腫瘍発見率は、全国的には、1%前後との報告が多い。しかし、内視鏡医が存在していない石狩郡当別町(人口15,329人 2023年1月1日)では、2020年の胃がん検診の実績は受診率 3.7%(バリウム244名 内視鏡92名 計 336名)、胃がんの診断率 0.3%(1/336)であり、胃がんを含めた消化管腫瘍の発見率がとても低い。さいわい内科消化器クリニックは2022年10月に開設され、日本消化器内視鏡学会専門医2名が常勤している。そこで開設後の上部内視鏡検査での検査件数・腫瘍検出率について検討することにした。
調査対象データ該当期間	2022年10月から2023年11月まで
研究の方法 (使用する情報・試料)	クリニックで上部内視鏡検査を行った388名(男性168名・女性220名・平均年齢65.6歳)を対象としその後の上部内視鏡検査での検査件数・腫瘍検出率について検討する。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	代表電話：0134-24-0325 倫理委員会事務局
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。

